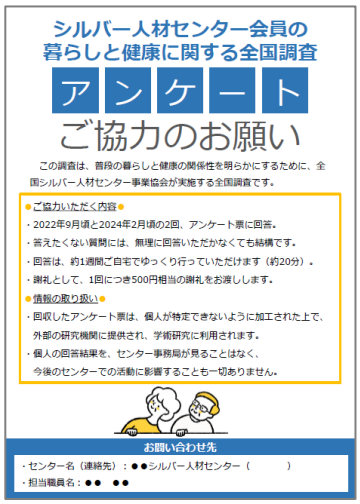
本冊子はアンケート調査(1回目)に
ご協力いただいた会員の皆様にお配りしています。

暮らしと健康に関する全国調査
ご協力の御礼と初回調査の要約

この度は、全国シルバー人材センター事業協会が実施した「暮らしと健康に関する全国調査」にご協力いただき、ありがとうございました。

●調査の概要●

- シニアの方の「暮らしと健康の関係」を明らかにするために、2回の調査を行います。
- 1回目調査は2022年10-11月に実施しました。
- 無記名のアンケート調査(約20分)でした。
- アンケート票は、所属のシルバー人材センター事務局にて、配付・回収が行われました。


シルバー人材センター会員の
暮らしと健康に関する全国調査

アンケート

ご協力のお願い

この調査は、普段の暮らしと健康の関係性を明らかにするために、全国シルバー人材センター事業協会が実施する全国調査です。

●ご協力いただく内容●
・2022年9月頃と2024年2月頃の2回、アンケート票に回答。
・答えたくない質問には、無理に回答いただかなくても結構です。
・回答は、約1週間ご自宅でゆっくり行っていただけます（約20分）。
・謝礼として、1回につき500円相当の謝礼をお渡しします。
●情報の取り扱い●
・回収したアンケート票は、個人が特定できないように加工された上で、外部の研究機関に提供され、学術研究に利用されます。
・個人の回答結果を、センター事務局が見ることはなく、今後のセンターでの活動に影響することも一切ありません。

お問い合わせ先
・センター名（連絡先）：●●シルバー人材センター（　　）
・担当職員名：●●　●●

2回目調査に向けたご案内

次回の調査は、**2024年4月頃**を予定しています。

当初は、2回目調査は「2024年2月頃」とご案内しておりましたが、
変更させていただきました。何卒ご了承ください。

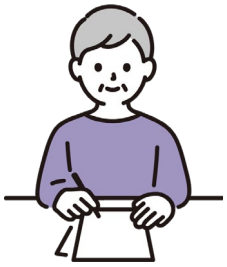
以下に該当し、2回目調査に参加できない場合は、お問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。ご家族から連絡いただいても問題ありません。

[2回目調査に参加できない理由：転居・入院・体調の急変など]

＜２回目調査についてのお問い合わせ先＞
国分寺市シルバー人材センター
電話番号：042-325-4011　(受付時間：平日 8:30～17:15)
担当職員：小林

1回目アンケート調査の結果

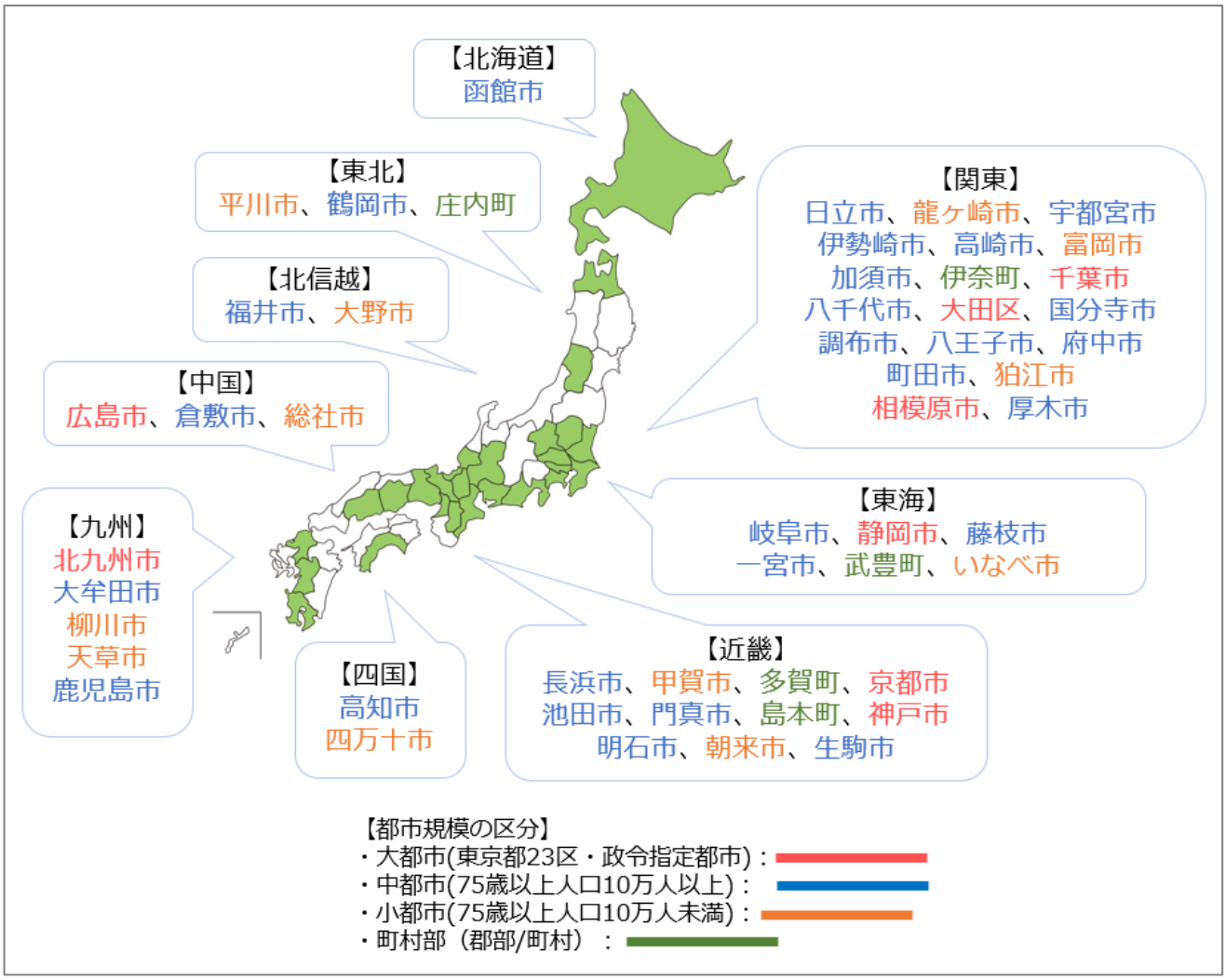
対象地域と回収率



地域と都市規模別に、全国から選定した52カ所のセンターに所属する75～84歳の会員にアンケート調査を実施しました。

回収数(率)は、2,095件(95.0%)と非常に高い値でした。

ご協力いただいたシルバー人材センター

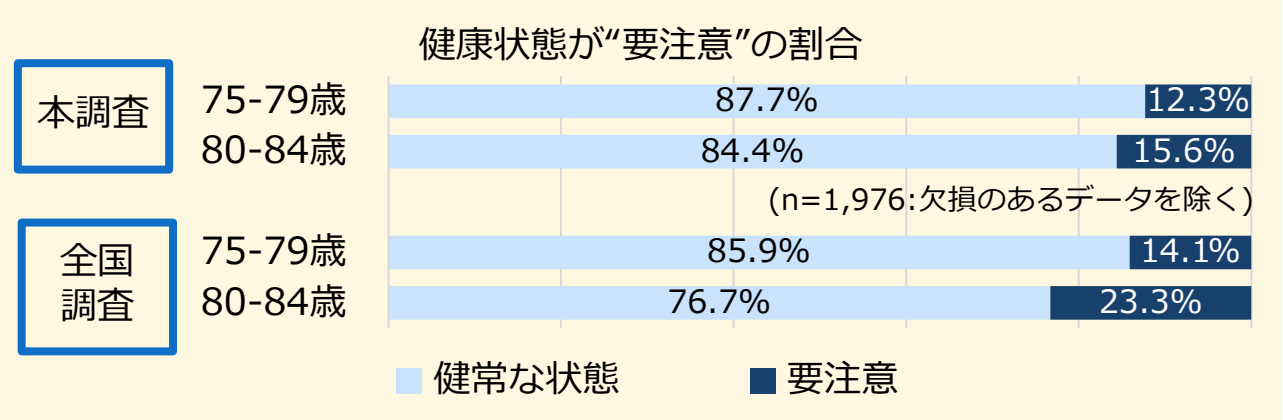


結果①参加者の健康状態

✓健康状態が要注意[1)]の人は75-79歳で12.3%、80-84歳で15.6%でした。

✓一般高齢者を対象とした全国調査[2)]と比べると、本調査参加者では、要注意に該当する人が少ない傾向にありました。

✓とくに80-84歳層で、約8ポイントも要注意の割合が低かったです。



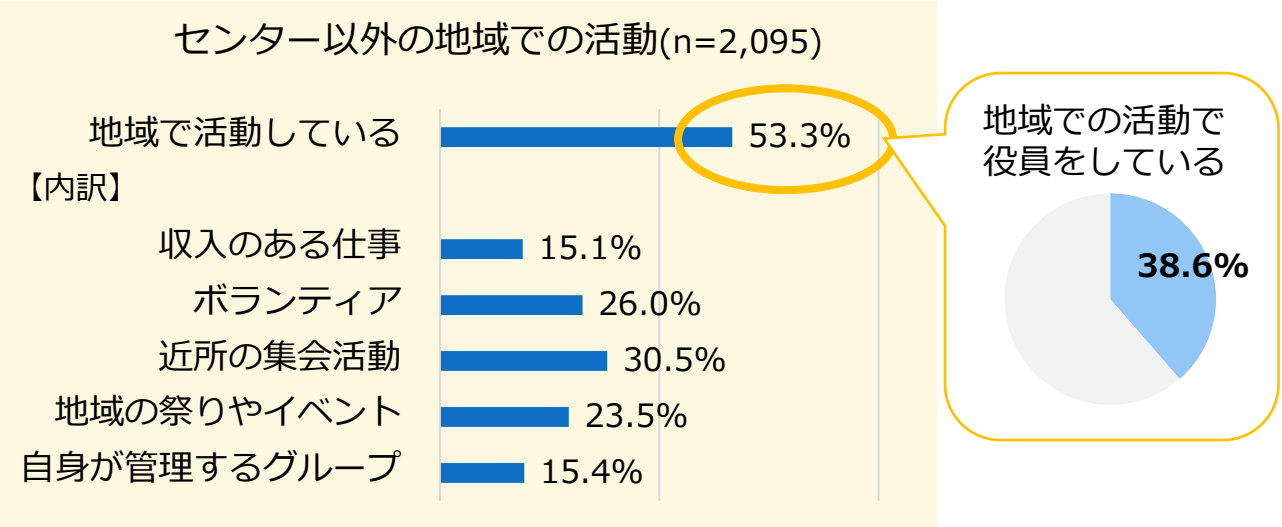
健康状態が要注意とは？：

「フレイル」と呼ばれる状態で、健常な状態と要介護状態の中間ですが、適切な治療や予防で健常な状態に戻ることができる段階でもあります。

結果②センター以外の地域での活動状況

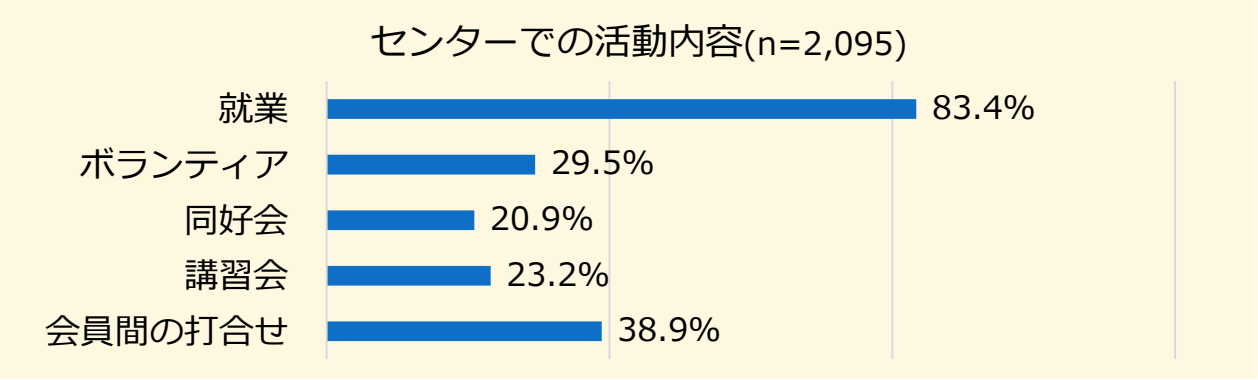
✓53.3%の人が、センター以外でも意欲的に地域での活動をしていました。

✓38.6%の人は、センター以外の活動で役員を務め、リーダーシップを発揮していました。



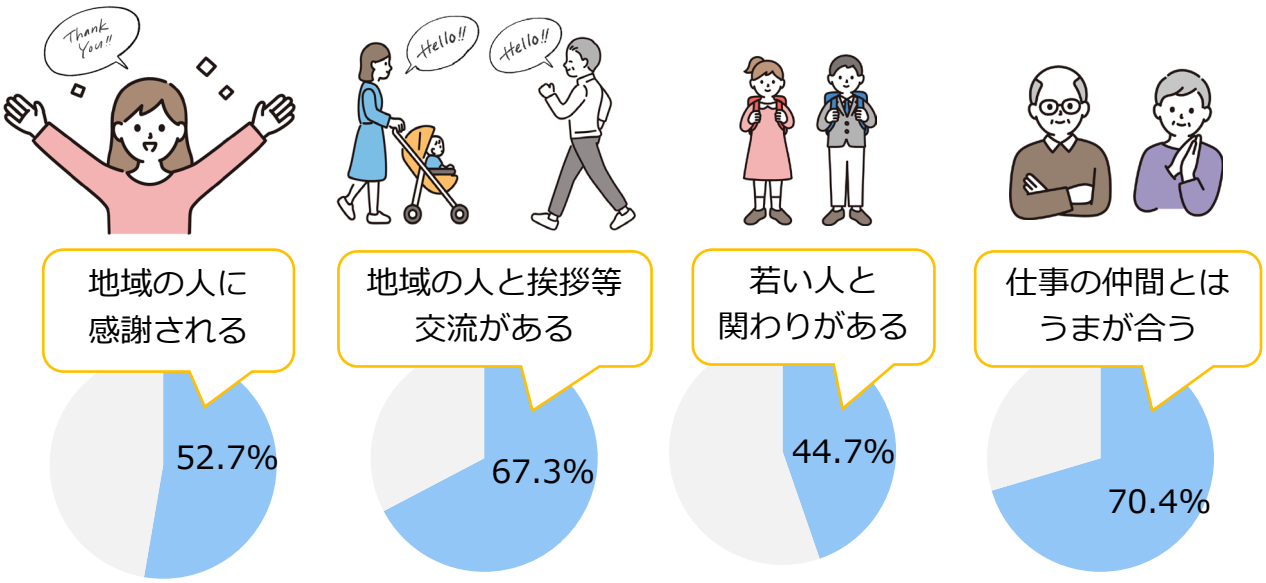
結果③センターにおける活動状況

✓ 83.4%の人が、センターで定期的に就業をしていました。



結果④センターでの活動を通した人とのつながり

✓ センターでの「仕事の仲間とはうまが合う」を実感している人は、70.4%であり、とても多かったです。



＜参考文献＞

1) 荒井秀典,フレイルの意義.日本老年医学会雑誌(2014)

2)Yamada Mら. Predictive Value of Frailty Scores for Healthy Life Expectancy in Community-Dwelling Older Japanese Adults. J Am Med Dir Assoc(2015)

3)総務省「労働力調査」(2021)

2回目の調査もご協力の程よろしくお願いいたします！

全国シルバー人材センター事業協会 発行